

高校生向け「禁煙・薬物乱用防止講演会」— 講師として参加して

中川直人・早川浩司

昨年 12 月 4 日に立命館宇治高校で高校生を対象とした「禁煙・薬物乱用防止」の講演会が開かれ、筆者らが招かれて講演をしました。同校では 7 月にエイズに関する講演会が開かれ、このとき講師の岩室先生、保健室の養護の先生ともども短時間お話をさせていただく機会がありました。その際、禁煙教育、性（エイズも含む）教育、薬物乱用防止教育の 3 つの課題が若者の正しい成長にとってきわめて大切であるという話になり、秋以降に、「禁煙・薬物乱用防止」をテーマとした講演会を企画することになりました。

今回の講演会では、若い人には年配者からの話ばかりでなく、比較的年齢の近い講師からの話の方が身近に聞いてもらえると考え、最初に若手の薬剤師 中川直人さん（京都 すこやか薬局）が喫煙の害について話し、続いて早川浩司（株）クレオテックが薬物乱用防止について

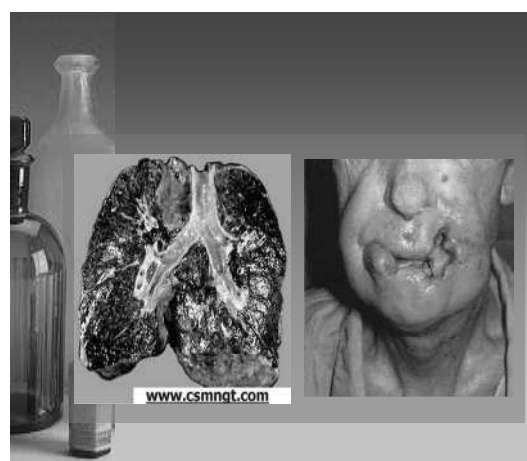
話をしました。当初は中学生の1クラスでの講演が考えられていましたが、現在の危険な状況を反映してか、しだいに大きな取組となり、高校1年生360名への講演となりました。

(早川浩司)

喫煙の害について

近年、喫煙による害が医学的にも証明され、欧米からの禁煙ブームによって日本でも禁煙・分煙化が進められています。未成年者の喫煙も減少傾向にあります。一方で喫煙の低年齢化が問題となってきています。さらに、成人喫煙者の約20%が20歳未満の時に喫煙を始めているというデータがあり、若年者であるほどニコチンによる依存性が発現しやすくなるとされています。喫煙の低年齢化が進んでいるのであれば、禁煙の学習も早いうちのほうが効果も高いと考え、今回の講演会で話しをすることにしました。

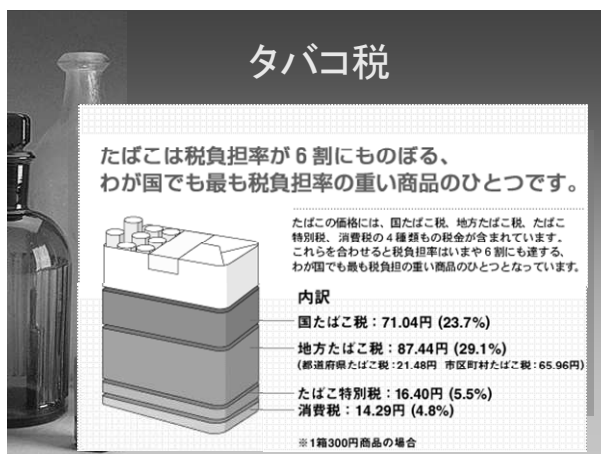
今回、講演するにあたり、喫煙に関する害は言葉で伝えるよりも視覚に訴える方がより印象に残ると考え、できるだけ衝撃的な写真をスライドにしました。



肺、口腔癌のスライドの時には場内からどよめきも聞こえ、効果はあったように感じました。一方、最近では喫煙の害の講義も積極的にされているのです。すでに何度も聞いているであろう癌などの長期的な喫煙による害だけでなく、美容などへの悪影響も紹介しました。



ここで健康被害の話だけでなく、少し角度を変えて喫煙と経済に関する話もしました。禁煙の話が出てくると喫煙者の方で「タバコの税金を納めて社会貢献しているからタバコを吸ってもいいのではないか」と言う方が必ずいますが、それは大きな間違いであり、喫煙による過剰な医療費、労働力の低下、吸殻の火の不始末による火事、喫煙許可により余計にかかる設備・維持・清掃費…などの「損失」がタバコの収益をはるかに上回ることを説明しました。



最後に喫煙の害が他人にも及ぶこと、つまり受動喫煙の問題をしっかりと理解してもらうため、スライドも多めに用意し、重点的にお話ししました。

副流煙の方が毒性が強いことや、妊婦の近くで喫煙することにより、低体重児が生まれやすくなることなどを改めて説明し、「喫煙は個人の自由」などではなく「喫煙は緩慢な他殺」であり、喫煙の害は周囲や家族も巻き込んでいることを理解する必要があることを訴えました。

360人と大人数に参加していただいた講演会でしたが、生徒からの反応も良く、非常に有意義な講演会だったと思います。しかし、自分自身が知識・経験不足であることから、伝えたいことを伝えられなかった部分も多々ありました。今回の反省点を踏まえ今後も活動していきたいと思います。

(中川直人)

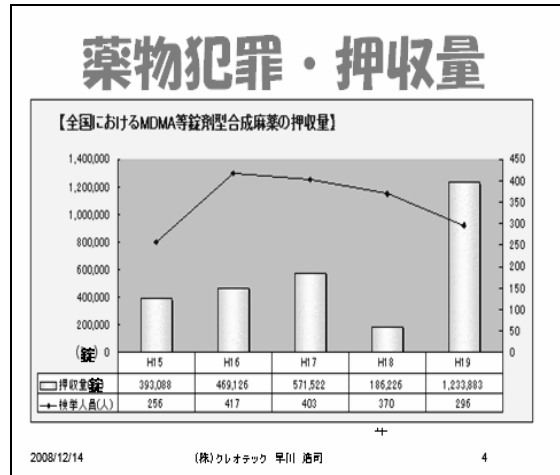
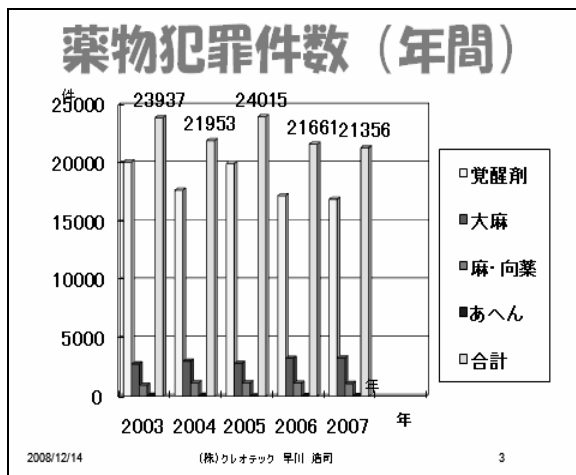
薬物乱用について

昨今、薬物犯罪について連日報道され、マスコミも取り上げるテーマですが、中には面白半分と言われても仕方ないようなものまであります。その影響か、大人でも、話をすると10人中5~6人の方から「大麻はタバコよりまじみたいでは？」という声が出てきます。そのため、規制のサイトにある「ダメゼッタイ」をそのまま（既に関連している場合もある）繰り返すだけでなく、できるだけ自身でアレンジして薬物犯罪の実態と正しい知識を分かりやすく提示することと併せて、大人にも責任があり、青少年とともに頑張っている姿勢を出すことが重要です。また、薬理作用の話には構造式がどうしても関連してきますが、「亀の甲」にはとっつきにくいので、難しい内容も分かりやすく話すよう腐心しました。主なスライドを中心に講演内

容のあらましを紹介します。

実態について知る

連日報道される薬物犯罪の件数は皆が考えているよりも遙かにひどい実態 (件数・押収量) であることを認識して、自分には関係ないという意識を改めてもらう。



#押し入れから大麻180キロ
大麻、過去最大の押収量 警視庁 (08.7.17)
末端価格7億2千万円
#覚醒剤、大麻、MDMA 大阪港 (07.8.13)
末端価格131億円押収
#メキシコの薬物犯罪組織の摘発押収
2007年05月04日
**摘発時2億5000万ドル
(約296億円)押収**

2008/12/14 (株)クレオテック 早川 池司 30

ぼくは
わたしは
ゼッタイ
薬物乱用なんて
しないよ!

☆大牟田市で発砲事件
九州誠道会幹部撃たれ死亡(08.9.15)
☆九州誠道会会長、覚醒剤違反容疑で逮捕
☆向精神薬「エリミン」30万錠不明
大阪の中村クリニック→暴力団?(08.10.19)
☆塩野被告、薬物事件で有罪:19歳女性不明
のまま 東京地裁(08.7.23)
☆覚醒剤で取り調べ中「女性殺した」(08.7.23)

薬は本来、人類の幸せに貢献する非常に有効なものだが、製造から使用にいたるまで正しくないと非常に危険で、死亡する場合もあることを知ってもらう (薬および食物との相互作用, 血中濃度相違, 調剤過誤, 薬害などを例にとって)。そのため、薬事法, 毒物劇物取締法, 麻薬向精神薬取締法, 覚せい剤取締法などで厳格に規制されており、違反すれば罰せられる。「1回だけ」でも、法を犯せば乱用となる。また、「1回だけ」から始まって最終的には暴力団の資金源となり、人殺しまで犯してしまう。また、1回でも世界では死刑に処せられた例もあることを知ってもらう。



代表的な乱用薬物の危険性を知る

乱用薬物を興奮系（覚せい剤など）、抑制系（麻薬、向精神薬、有機溶剤など）、幻覚系（大麻、LSD、マジックマッシュルームなど）、その他（脱法ドラッグなど）に分類して、その特徴とともに、皆が考える以上に危険であることを示す。特に最近多くなっている大麻、MDMA に重点を置く。よく「大麻はオランダでは合法ではないか」と言う人がいるが、オランダの薬物乱用はひどく、せめて、大麻で抑えられないかと国が規制をできないでいる事情を話す。また、マリファナ（乾燥大麻）、ハシシ（大麻樹脂）とも呼ばれ、成分含量にも高濃度からほとんど数パーセント以下の大きな違いがあるのでより注意が必要。急性毒性もあり、心拍数の増加、結膜の充血、食欲の亢進、平均感覚の障害、口渇、頻尿、悪心、嘔吐を、慢性毒性には咽頭炎、慢性気管支炎、精神障害のみでなく、女性ではプロラクチンの分泌低下、月経異常、生殖細胞異常に注意が必要であり、有害成分は胎盤も通過する、男性ではテストステロンの分泌低下（40%超）、精子数の減少、遺伝子数の異常や突然変異が知られていることなどを話す。シンナーによる委縮脳を写真で示し、印象に残す。また、酢酸エチル、トルエンなどの合剤で爆発限界、引火点などを教えて日常的にも危険な物質であり、車の中でライターを点けたら爆発するのは当たり前と話す。肝障害、血液障害も発症するような物質であることを強調する。MDMA は構造式の骨格を示して、エフェドリン、アンフェタミンに類似することと麻薬の作用を併せ持つ、あたかも普通の薬のような錠剤やカプセルの形をしていて騙されやすいので「風邪に良い」とか「鼻水に効く」とか言われて嵌まっていってしまうケースが多いと注意を喚起する。

薬物乱用の3要素を知り、それを克服すること

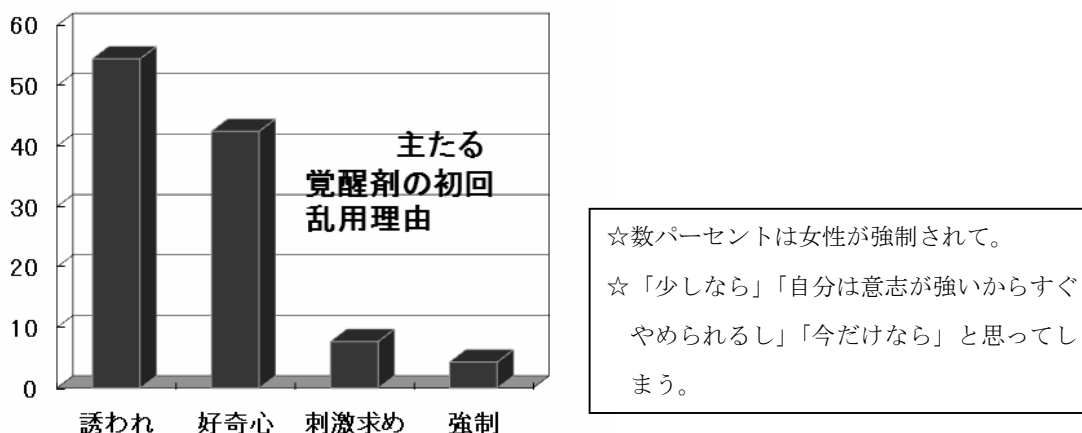
「薬物」「あなた」「環境」3つが全部そろうと危険。「薬物」は今までの話で意外と身近にある。「あなた」はどんな状態が危険か、15項目の自己診断シートで判定し、多くの項目に「ハイ」と答えた人は危険であり、周りの人に相談しながら改善するように。「環境」とは「悪魔があなたを誘うのか？」ではなく「やさしく声をかけてくる」のがほとんどである、友達に意外と多いのでなかなか断れない、また、暴力団も天使のような甘い言葉で誘うのが普通である。

「悪魔の天使が優しく誘ってくる！」ことを銘記する。「最高の気分が味わえるよ」「一度だけなら大丈夫だよ」「ダイエットに効くんだよ」「勉強にも集中できるよ」「お金はこの次でいいよ」「みんなやっているんだよ」、「イライラが取れてスッキリするよ」、「やめようと思えば

あなたはどんな人？ 自己診断シート		
Q 1	親からほめられた記憶がほとんどない	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>
Q 2	勉強のできる兄弟や姉妹と比べられてきた	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>
Q 3	今までいじめられつづけてきた	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>
Q 4	人からイヤなことをされても笑顔でまかしてきた	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>
Q 5	両親や先生に好かれたくてよい子のふりをしてきた	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>
Q 6	両親が家にいないことが多い	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>
Q 7	自分の気持ちを素直に表現できない	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>
Q 8	友人関係でストレスを感じる事がよくある	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>
Q 9	太っているというコンプレックスがある	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>
Q 10	何をやってもダメで、自分に自信が持てない	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>
Q 11	将来の目標や夢を持っていない	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>
Q 12	学校、家庭などの中で、自分の居場所がないと感じる	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>
Q 13	子どものときに虐待（親からの暴力）された経験がある	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>
Q 14	父から母への暴力を目撃した	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>
Q 15	両親の離婚や再婚という環境の大変化についていけない	ハイ <input type="checkbox"/> イエ <input type="checkbox"/>

埼玉県保健医療部薬務課薬物対策担当

いつでもやめられるんだ」などの甘い言葉に騙されやすい。それに対して「ノー」の意志をはっきり示し、その理由も伝える。友達に「もうやめなよ、いいことなんて何もないよ」と言う。暴力団にもはっきり「ノー」と言う。しっこく誘われたり、脅してきたらすぐ逃げること（「やめて、誰か助けて！」）。



最悪の事態—悲惨な戦争にまでなる

中国と英国の間で、2次にわたるアヘン戦争の引き金となった。また、日本が第2次世界大戦を遂行するために満州国でケシを栽培して資金調達をした。「われわれの戦争は阿片なしではできなかつた」日本は阿片の売買で戦費を賄っていた。30トン/年の阿片製造工場を中国東北部（元満州）に。関東軍と阿片。キャンディー大の阿片10粒が当時の1か月分の給料。昭和12年当時、満州国には110万人の阿片中毒者。日本に協力的な政権づくりを進めていた。チャハル省の農家でケシを作らせ、資金源にした。昭和9年、3万ヘクタールのケシ畑を設けた。これらの事実を知ってもらう。

当初、高校生にうまく伝えられるか不安もありましたが、しっかり聞いてくれたようです。今後も薬物が正しく使われるよう、少しでも薬剤師としての責任が果たせればと考えます。

（早川浩司）